

～2021年度の体制と研究会の方向性～

子どものネットリスク教育研究会では、2021年度の体制と研究会の方向性について、三役会並びに役員会を開催し協議しましたのでご報告します。大きく変わった点は下記のとおりです。

役職の交代

- ・専門研究委員会委員長
(旧) 内山陽子 ⇒ (新) 本間史祥
- ・ニュース担当
(旧) 本間史祥 ⇒ (新) 内山陽子

研究発表会の実施

各専門研究委員会の研究について、その内容を発表し合い、子どものネットリスクに関わる研究の推進を図る、また、各研究員の研究能力の向上、発展を目的に、年に一回の研究発表会を計画します。

<日時>

- ・2021年7～8月(4月には決定します)
- ・2～3時間を予定

<開催方法>

- ・オンライン

<内容>

各部門(脳、視聴覚、睡眠・運動器、乳幼児、ネット依存・対策、セキュリティ・ネット被害)から研究報告1つの研究報告10分程度発表後、質疑応答

ミニ発表会の実施

THInet 認定インストラクター取得を希望しながらも、講演や啓発機会に恵まれないとの理由から取得を断念する方が多いことが以前から課題でした。そこで、本研究会でミニ発表会を計画し、THInet 認定インストラクター取得をサポートします。

<対象>

認定インストラクター取得希望者の内、ミニ発表会での発表を希望する方

<開催方法>

オンライン ※詳細は後日お知らせします!

専門研究委員会に ICT 教育部会の設立

ご存じの通り、GIGA スクール構想が前倒しになり、遅くとも2021年度中には、全小中学生に一人一台の端末が配付されます。本研究会では、2月6日(土)に「GIGA スクール構想の現場の実態と課題」の勉強会を実施しました。開催日2日前という直前の案内にも関わらず、録画視聴希望者も含めて、50名以上の方に参加して頂きました。反響の大きさに驚いています。

今後、ネットリスクを啓発する上で、GIGA スクール構想と学校におけるICTの活用は切っても切り離せません。学校現場をよく知った上での啓発が求められます。ICTの活用を踏まえたネットリスクの啓発はどうあるべきなのか、さらなる研究が必要だと感じています。例えば、「端末の使用は1日0時間までにしましょう」という約束事を提示しても、「学校の授業で3時間以上使っていますが、それも含めてですか?じゃあ学校の授業ではよくないことをしているのですか?」「自宅でAIドリルを使って、1日1時間勉強しています。それもだめなのですか?」といった質問が想定されます。これまでと同じような啓発内容では、現場の先生たちを苦しめてしまう講演や啓発になりますし、子どもたちを混乱させてしまうことを危惧しています。

【あとうがき】子どものネットリスク教育研究会ですので、研究組織として質的な向上を図りたいと考えています。THInetとも連携しながら、子どものネットリスク教育研究の発展に寄与したいと思います。